



施設向け

感染対策レター

令和3年6月

第8号

川崎市健康福祉局 感染症対策課 TEL:044-200-2343
Email:40kansen@city.kawasaki.jp

見直そう、対策を！

新型コロナウイルス感染症は、変異株の問題など新たな脅威はありますが、感染対策の基本は変わりません。「手洗い（手指消毒）」・「マスク」・「3密を避ける」をキーワードに、日々の感染対策を振り返りましょう。



自施設の感染対策マニュアルはありますか？

以下のマニュアルや通知が参考になります！

- ・高齢者・介護施設における感染対策マニュアル
平成30年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
- ・介護職員のための感染対策マニュアル
厚生労働省老健局
- ・社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について
(その2) 事務連絡 厚生労働省

パーティションを使用しているから大丈夫？

会議室や休憩室でパーティションを使用しているからとマスクをしないで会話をした人達からクラスターが発生した事例がありました。

パーティションは、近距離の飛沫を防止できるかもしれませんが、マイク口飛沫に対しては、別の対策が必要です。

パーティションを使用しているでも、**マスクを着用、飲食時は会話しない、ドアを開けて換気を行う**などの対策が必要です。

また、「頭の高さまであるパーティションが必要だ」との理化学研究所のスーパーコンピューター「富岳」の実験結果もあり、設置する場合は「高さ」にも気を付けましょう。

スタッフだけマスクをしていれば大丈夫？

マスクをつけない人々の中にウイルスが持ち込まれると、爆発的に感染がひろがってしまいます。職員のマスクは徹底されている施設がほとんどですが、利用者さんにも可能な限りマスクをつけてもらいましょう。

マスクは正しくつけてこそ効果がある

マスクの「素材」と「つけ方」で効果が変わります。

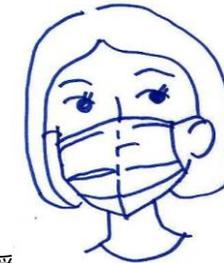
施設内では、できるだけ不織布マスク（サージカルマスク）を着用することを推奨します。三層構造とフィルター使用に加え、ノーズフィット（ワイヤー）とプリーツがあることで、顔にフィットしやすい形状です。

不織布マスクの着用方法と注意点

- ① 手指消毒
 - ② マスクのうら・おもてを確認する
 - ③ 鼻にフィットさせるためにマスクのワイヤーの中央を曲げて、両サイドを折り返し、「W」の形に曲げる。
 - ④ ゴムひもを両耳にかける
 - ⑤ 鼻のワイヤーを片手で押さえ、もう片方の手でマスクの下を持ち、プリーツを広げる
- ・すき間ができないようにマスクの縁と顔を密着させる
 - ・あごの下まですっぽりと覆う
 - ・ひげはマスクに挟まない



ワイヤ部分



参考資料：聖路加国際公衆衛生大学院 大西一成准教授

介護現場で飛沫感染しやすいのは**食事介助、口腔ケア、吸引**などです。人の呼気は前に向かって拡散するので、**できるだけ利用者の正面ではなく、隣や斜め前の位置で行いましょう。**

咳をする利用者のケアの場合には、フェイスシールドやゴーグルを着用することも飛沫防止策として有効です。

コロナワクチンを接種したから大丈夫？

ワクチン接種を済ませた施設もあると思います。発症予防に十分な免疫が出来るのは、ファイザー社のワクチンでは「2回目の接種を受けてから7日程度経って以降」と言われます。ファイザーのワクチンの発症予防効果は95%と報告されていますが、100%ではありません。人口の70%以上が集団免疫を獲得した場合に、感染を予防することができると言われており、まだまだ日本でのワクチン接種者は少ないです。

ワクチン接種に関わらず、感染防止策を継続しましょう。

THANK YOU

